

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「楽器バンドーラの制作と演奏」実習会
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 木祖村観光協会 木曽郡木祖村藪原196番地
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	569,848円 (うち支援金: 408,000円)

事業内容

木曽地域は昔から豊富な森林資源を生かした木工産業が盛んな地域であるが観光客は減少傾向にある。木曽産材の木材を活かした「楽器バンドーラの制作と演奏」実習会開催し、今後に活かす滞在型観光地づくりを実践した。

平成30年10月3日～7日の5日間
会場：木祖村 こだまの森 12名参加



【制作作業の様子】

【目標・ねらい】

- ①木工体験制作者担い手育成
- ②木を活用した観光地づくり
- ③滞在型観光客の増加

事業効果

- ① 支援金を活用して、体験し易い安価な参加費を設定することができた。実習会の制作と演奏は5日間であったが、今後の演奏練習を含め、実習参加者により新たな組織「バンドーラ友の会」が結成され、担い手になり得る活動につながっている。既にH30.12.1に第1回目の集まりがあり、同日、結婚披露宴で演奏している。
- ② 木曽地域の特性を生かした体験型・滞在型観光地づくりとしての実践となった。
- ③ 今回の事業では、アシスタント等の担い手育成を主に実施したことから近隣への参加者募集としたが、次年度以降は徐々に遠方へ参加者募集の周知をすることとしており、宿泊関係を中心に滞在型観光客を増加させる実践となった。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・森の入口にふさわしい木の文化あふれる体験事業の実践となった。
- ・観光客に多くの注目を集めた。
(制作中や演奏会時に)
- ・遠方からの参加者については長期宿泊型の体験となった。
- ・参加者同士のコミュニケーションが深まり、参加者同士の会へと発展した。

今後の取り組み

今後の計画としては、平成30年度に引き続き、今後2年間継続実施する予定。第1回目の参加者による演奏練習の会(バンドーラ友の会)が活発化していることから、この会の輪が広がりを見せる状況にあり、第2回、第3回への取り組み(参加者募集、バンドーラ友の会への参加)へ大きな活力となる。バンドーラ制作の担い手としてのアシスタントとして第1回目参加者は既にその能力は持ち合わせており、スタッフとして人材を担うことに期待したい。

バンドーラ友の会の演奏的技術に今後も磨きをかけ、森の入口でもある観光地こだまの森の名物演奏会となるように発展させていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある